

# 「龍北中学校の島ユムタ伝承活動の取組」

## 1 学校名

龍郷町立龍北中学校

## 2 学年・人数

1 学年（6名） 2 学年（5名） 3 学年（4名）

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

平成28年5月～7月 総合的な学習の時間（龍北中学校）

平成28年6月9日（木）島ユムタ校外活動（各集落の公民館）

### (2) 発表の日時・場所

平成28年7月6日（水）校内島ユムタ発表会（本校多目的ホール）

平成28年10月30日（日）学習発表会・ビデオ上映（本校体育館）

平成29年2月12日（日）町民フェア（龍郷町りゅうゆう館）

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

### (1) 名称

島ユムタ（しまゆむた）

### (2) 由来

奄美大島の各地域で古来より使われている方言であり、古事記や万葉集に出てくる古語が今も使われ、発音にも大きな特徴がある。奄美大島では「シマグチ」「シマユムタ」「シマクトゥバ」と呼ばれている。このシマユムタを流暢に話せるのは、今やお年寄りや限られた人たちとなっており、龍北中学校校区には、安木屋場（あんきゃば）、円（えん）、嘉渡（かど）、幾里（いくさと）、秋名（あきな）の5つの集落がある。各集落に方言があり、それぞれの伝統行事を題材とした劇のシナリオをつくり、それをシマユムタで演じている。

## 5 保存会や地域との連携の具体

まず、各集落にある伝統行事を題材に生徒がオリジナルの劇をつくる。その際、伝統行事について詳しい、各集落の高齢者に生徒が直接、取材を行った。さらに、取材をもとに生徒が作成したシナリオを、シマユムタ校外活動として、各集落の公民館にて、老人クラブの方々を指導者に招き、シマユムタのシナリオに直していただいた。取材やシマユムタ校外活動については、事前に各集落区長や老人クラブ会長と連携を図り、指導者を紹介していただいている。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

シマユムタ伝承活動は、平成16年から本年度で13回目となる伝統的な取組である。これまでは、生徒の興味・関心の高い題材をもとに劇を作っていたが、地域の方々から地域の伝統行事を題材にシマユムタの劇を作れば、地域を知るよい機会になるのではないかという提案をいただいた。そこで、平成28年度から各集落にある伝統行事や昔話を題材に劇を作ることにした。また、指導をいただいた老人クラブの方々をはじめ、保護者、地域の方々を発表会に招き、閉会式では、老人クラブの代表の方に講評をいただき、次年度へつなげた。

## 7 取組の様子



島ユムタ指導



島ユムタ発表会



老人クラブ代表の講評



学習発表会でのビデオ上映

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【生徒】

みんな短い期間でシマユムタを覚えてスラスラと言っていたので、すごく頑張ったのが伝わってきた。自分は、島ユムタを覚えたもののイントネーションが少し違っていたので、家でも日常的に使えるようになりたい。講評でも「まだまだ」と言われたので、ばあちゃんやじいちゃんから時々、シマユムタを教えてもらい、使えるようになりたい。これから「言葉の文化」を絶やさず、未来に残せていけるように自分がシマユムタを教える立場になれるよう頑張りたい。

### 【指導者】

よく練習したことが伝わる劇であった。大切な言葉の文化を日頃からどんどん使って、しっかりと受け継いでいってほしい。

### 【職員】

事前取材、島ユムタの録音をしたおかげで、これまで以上により取組になった。イントネーションについては、地域の方々との連携でさらによりものができると思う。

### 【地域・保護者】

よく方言を覚えており感心した。また、伝統文化を取り上げておりよかった。